

令和 3 度厚生労働科学研究費補助金（障害者政策総合研究事業（精神障害分野））

医療観察法における専門的医療の向上と普及に資する研究

分担研究報告書

### 頻回/長期行動制限を受けた対象者の全国調査

研究分担者 壁屋 康洋 国立病院機構榊原病院

#### 研究要旨：

「複雑事例のプロファイリングとセグメント化に関する研究」<sup>1)</sup>にて入院データベースを用いて分析した結果、頻回/長期行動制限を受け、かつ医療観察法入院が 6 年を超える複雑事例中核群であっても、状態の改善が得られて通院処遇へ移行した群と、改善が得られず処遇終了-入院に至った群とがあることが明らかになった。また処遇終了-入院までの日数は入院半年未満から 12 年以上に分布し、通院処遇へ移行するまでの期間と差がない<sup>2)</sup>こと、処遇終了-入院につながる最大の要因は行動制限総日数であること<sup>1)</sup>から、本研究は入院の長期化のみならず処遇終了-入院と頻回/長期の行動制限が医療観察法入院医療の課題であると捉え、その特徴と要因の分析を進める。

研究初年度である本研究では、重度精神疾患標準的治療法確立事業（データベース事業）の入院データベースを利活用する研究事業（以下、利活用研究事業）から、平成 17 年 7 月 15 日の医療観察法制度開始から令和 1 年 7 月末日の期間に医療観察法入院処遇となり、令和 3 年 7 月 31 日時点で退院済みの 2,993 名のデータを得て、退院申請時の共通評価項目などを指標に解析を進めた。

頻回/長期行動制限の有無と転帰に関するカイ 2 乗検定から、頻回/長期行動制限を受けると処遇終了-入院となりやすいことが示された。転帰ごとの退院申請時共通評価項目の多重比較から、複雑事例中核群と同様に、処遇終了-入院となった群は退院申請時の共通評価項目にて評価される状態が改善していない面が多いことが明らかになった。

頻回/長期行動制限を受けた群（行動制限群）の中で処遇終了-入院となった群と通院処遇へ移行した群について、共通評価項目の各下位項目を Brown-Forsythe 検定による群間比較およびフリードマン検定による個人内比較で解析したところ、両者は初回入院継続申請時には群間差が小さく、後者は多くの点で個人内の改善が得られたのに対し、前者は改善が少なく、退院申請時には両者の差が多く面で見られた。つまり行動制限群の中でも、状態の改善が得られて通院処遇へ移行した群と、改善せずに処遇終了-入院に至った群とがあることが確認された。しかしながら、頻回/長期の行動制限から処遇終了-入院に至った群の中には、入院序盤から活動性・社会性などに課題があり、そこから処遇終了-入院につながった一群が潜んでいることが疑われた。

この一群の探索と要因の抽出、処遇終了-入院の要因分析が次年度の課題となる。最終的には、処遇終了-入院を減らすことにつながる提言を目指したい。

研究協力者（敬称略）

高野真弘 国立病院機構榊原病院

## A. 研究目的

「心神喪失等の状態で重大な他害行為を行った者の医療及び観察等に関する法律（以下、医療観察法）」に基づく医療の中で、何らかの理由で入院が長期化する、いわゆる複雑事例が課題となった。しかしながら「複雑事例のプロファイリングとセグメント化に関する研究」<sup>1)</sup>にて医療観察法入院が6年を超える長期群、および行動制限群（入院以来5回以上の隔離・合計28日間以上の隔離・1回以上の拘束のいずれかを受けた対象者）の両方の特徴を併せ持つ複雑事例中核群<sup>3)</sup>について、初回入院継続申請時と退院申請時の共通評価項目（第2版）等の変数を分析した結果から、入院6年を超えても一部は改善して通院処遇へ移行し、残りの一部は改善が得られないまま医療観察法医療を断念して処遇終了-入院へと移行していると考えられた。

医療観察法入院が6年を超えない対象者も含めたコホート全体に対して、壁屋ら<sup>2)</sup>は処遇終了-入院と通院移行までの日数を比較したが、両群の差は認められなかった。言い換えると入院が長期化しても通院処遇へ移行することもあれば、早期に処遇終了-入院することもあり、処遇終了-入院の判断は入院期間に依存しない。

処遇終了-入院は指定入院医療機関が裁判所に申請するものであるが、入院期間に依存しないことを鑑みると、医療観察法入院医療の課題として入院期間だけでなく処遇終了-入院を検証する必要がある。

壁屋ら<sup>1)</sup>が再入院群・再処遇群・長期群（医療観察法入院6年以上）・行動制限群・複雑事例中核群の各群と転帰の関連を検証した結果、複雑事例中核群は処遇終了-入院の割合が高いが、行動制限群の方が処遇終了-入院との関連が強かった。ダミー変数との相関をみると、処遇終了-入院につながる最大の要因は行動制限総日数であった<sup>1)</sup>。

以上のことから、本研究では医療観察法入院医療の課題を処遇終了-入院と頻回/長期行動制限の二つととらえ、これらの特徴とその要因を分析することを目的とする。

研究初年度である令和3年度は入院データベースからこれまでの医療観察法入院対象者のデータを用い、以下の分析を行う。(1) 処遇終了-入院群および他の転帰における退院時の状態の比較を、退院申請時共通評価項目を用いて行う。(2) 頻回/長期行動制限を受けた対象者（以下、行動制限群）の中で処遇終了-入院となった群と通院処遇へ移行した群とについて、退院時の状態（退院申請時の共通評価項目）に差があるか、また初回入院継続申請時から差があるか検証する。すなわち、医療観察法入院6年以上かつ頻回/長期行動制限を受けた対象者（複雑事例中核群）でも状態が改善して通院処遇へ移行した群と改善せずに処遇終了-入院した群があった<sup>1)</sup>が、行動制限群においても同様のことが生じているか検証する。

なお、本研究は令和3年5月28日付で国立病院機構榊原病院倫理審査委員会より承認を得て実施している。

## B. 研究方法

### 1. 調査対象

対象(1) 平成17年7月15日の医療観察法制度開始から令和1年7月31日までの期間に医療観察法入院処遇となり、令和3年7月31日時点で退院済みの対象者のうち、(ア) 利活用研究事業に協力しない1施設の事例、(イ) オプトアウトの申し出があった事例、(ウ) 信頼性が担保できない、明らかな瑕疵を認めたデータを除外し、利活用研究事業より提供を受けたデータ (n=2,993)。そこから(エ) 隔離・拘束の実施有無のデータが欠損しているデータ (n=60) を除外、(オ) 下記の行動制限群の解析では、同一日に隔離解除と開始を行い、回数と日数が多くカウントされたために基準となる5回以上または28日以上を越えてしまった可能性が疑われる事例 (n=5) を除外した。解析

では共通評価項目等の変数の欠損値に対してペアワイズで除外した。

## 2. 倫理的配慮

令和3年策定の人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針に則り、国立精神・医療研究センターの利活用研究事業にてオプトアウトを行うとともに、住所・氏名など個人を特定できる情報を削除、連結不能匿名化されたデータを利活用研究事業より提供を受け、解析を行った。

## 3. 統計学的解析

統計学的解析を以下の手順で実施した。

**1) 頻回/長期行動制限の有無（行動制限群）と転帰の比較：**令和3年7月末日までの医療観察法病棟退院者を村杉ら<sup>3)</sup>の基準による行動制限群

（入院以来5回以上の隔離・合計28日間以上の隔離・1回以上の拘束のいずれかを受けた対象者）とそれ以外（対照群）とに分け、転帰を比較し、カイ2乗検定により頻回/長期の行動制限と転帰との関連を検証した。

**2) 転帰ごとの退院申請時共通評価項目の差：**転帰のうち、抗告退院と死亡には退院申請時の評価がなされていないため、処遇終了-医療なし、処遇終了-通院、処遇終了-入院、通院処遇-家族同居、通院処遇-施設入所、通院処遇-単身、通院処遇-入院の7種の転帰ごとに退院申請時の共通評価項目（第2版）の下位項目の評定を比較し、多重比較（Scheffe）によって処遇終了-入院群との差を検証した。共通評価項目は2008年—2018年に第2版が運用され、2019年に第3版に改訂された。本来なら信頼性・妥当性の検証を経て改訂した第3版を使用すべきであるが、第3版は使用された症例が少ないため、以降の分析では共通評価項目は全て第2版を使用した。

**3) 転帰と退院申請時共通評価項目の関連：**7種の転帰が退院前の状態に与える影響を比較するため、処遇終了-医療なし、処遇終了-通院、処遇終了-入院、通院処遇-家族同居、通院処遇-施設

入所、通院処遇-単身、通院処遇-入院のそれぞれ1としたダミー変数を用い、退院申請時共通評価項目の各下位項目とのスピアマンの順位相関係数を算出して比較した。

**4) 行動制限群のうち処遇終了-入院群と通院移行群との初回入院継続申請時共通評価項目の比較：**行動制限群の中で処遇終了-入院となった群と通院処遇へ移行した群とについて、入院序盤から差があるのか検証するため、Brown-Forsythe検定にて初回入院継続申請時の共通評価項目の各下位項目を群間比較した。

**5) 行動制限群のうち処遇終了-入院群と通院移行群との退院申請時共通評価項目の比較：**行動制限群の中で処遇終了-入院となった群と通院処遇へ移行した群とについて、複雑事例中核群と同様に改善が得られて通院移行した群と、改善が得られずに処遇終了-入院した群とに分かれるのか検証するため、退院申請時の共通評価項目の各下位項目をBrown-Forsythe検定にて群間比較した。なお、退院申請時には共通評価項目が第3版に改訂されていた事例があるため、退院申請時は初回入院継続申請時よりNが減少している。

**6) 行動制限群のうち処遇終了-入院群の初回入院継続申請時と退院申請時の共通評価項目の比較：**行動制限群の中で処遇終了-入院となった群とについて、状態が改善しなかったのか検証するため、初回入院継続申請時と退院申請時の共通評価項目の各下位項目をフリードマン検定にて被験者内要因の比較をした。

**7) 行動制限群のうち通院移行群の初回入院継続申請時と退院申請時の共通評価項目の比較：**行動制限群の中で通院処遇へ移行した群とについて、状態が改善したか検証するため、初回入院継続申請時と退院申請時の共通評価項目の各下位項目をフリードマン検定で被験者内要因の比較をした。

**8) 行動制限群のうち、処遇終了-入院群と通院移行群の初回入院継続申請時共通評価項目の評**

**定数の比較：**行動制限群のうち処遇終了-入院となった群と通院処遇へ移行した群について、初回入院継続申請時の共通評価項目の下位項目のうち Brown-Forsythe 検定で有意差が認められた項目を検討するため 0 点・1 点・2 点の評定値ごとの人数をカイ 2 乗検定で比較した。

解析にはエクセル統計(BellCurve® for Excel)を使用し、 $p < 0.05$  を統計学的に有意とした。順位相関係数については  $|r| > 0.2$  の弱い相関を、効果量の Cramer's V については 0.2 を基準にして考慮した。

## C. 研究結果

**1) 頻回/長期行動制限の有無（行動制限群）と転帰の比較：**行動制限群とそれ以外（対照群）とに分けた転帰の比較を表 1 に示す。カイ 2 乗検定の結果（表 2～表 4）、カイ 2 乗値=170.5、0.1%水準で統計的に有意となり、残差分析から行動制限群に死亡（病死）、処遇終了-医療なし、処遇終了-入院、通院処遇-入院が多く、通院処遇-家族同居、通院処遇-単身、通院処遇-施設入所が少ないことが示された。

ただし行動制限群と対照群に対してそれぞれ 10 種類の転帰があり、計 20 あるセルのうち、行動制限群の抗告退院、死亡（自殺）、死亡（病死）、処遇終了-医療なしは期待度数が 5 未満となっている。全体の 2 割であるためカイ 2 乗検定は実施したが、行動制限群における死亡（病死）は期待度数の少なさから、行動制限と病死との関連は結論づけられない。なお、行動制限群で病死した 6 例は 30 代から 60 代に分布しており、対照群で病死した 12 例は 40 代から 80 代に分布している。少数でもあり Welch 検定で年代に有意差はない。

**2) 転帰ごとの退院申請時共通評価項目の差：**表 1 の転帰のうち、処遇終了-医療なし、処遇終了-通院、処遇終了-入院、通院処遇-家族同居、通院処遇-施設入所、通院処遇-単身、通院処遇-入院の 7 種の転帰ごとに退院申請時の共通評価項目の下位項目の評定を比較し、多重比較（Scheffe）によ

って処遇終了-入院群と他の群との差を検証した（表 5）。中項目・小項目合わせて 78 下位項目中、【自殺企図】【物質乱用】【衝動コントロール 4）そそのかされる】などの 14 下位項目を除いた計 64 項目において処遇終了-入院が通院移行のいずれの群よりも高かった。また【精神病症状】とその小項目、【非精神病性症状 2）不安・緊張】【非精神病性症状 4）感情の平板化】【内省・洞察】と【内省・洞察 3）病識】【内省・洞察 4）対象行為の要因理解】、【生活能力】とその 12 の小項目、【治療効果】【治療・ケアの継続性】など計 44 の下位項目にて処遇終了-入院群の退院申請時の共通評価項目がさらに処遇終了-通院群よりも有意に高かった。表 5 では処遇終了-入院の群において処遇終了-通院、通院処遇-家族同居、通院処遇-施設入所、通院処遇-単身、通院処遇-入院の 5 群すべてに対して 5%水準で有意に高い項目について、処遇終了-入院の群の平均値を太字で示した。

**3) 転帰と退院申請時共通評価項目の関連：**ダミー変数とした 7 種の転帰と、退院申請時共通評価項目の各下位項目との順位相関係数を表 6 に示す。N が多く  $r > 0.05$  でも 5%水準で有意となるため  $|R| > 0.2$  の弱い相関以上を基準とし、表 6 にて太字で示した。表 6 のように処遇終了-入院では【精神病症状】とその小項目 5 項目、【非精神病性症状】と【非精神病性症状 1）興奮・躁状態】【非精神病性症状 3）怒り】、【内省・洞察】とその小項目、【生活能力】とその 11 小項目、【衝動コントロール 5）怒りの感情の行動化】など計 45 の下位項目で  $|R| > 0.2$  の弱い相関以上となったが、他の転帰では  $|R| > 0.2$  の弱い相関以上となるものはなかった。

表 6 には行動制限群についてもダミー変数を用いて退院申請時共通評価項目の各下位項目との順位相関係数を算出して結果を示した。行動制限群では  $|R| > 0.2$  の弱い相関以上となったのは【非精神病性症状】【生活能力 4）家事や料理をしない】【生活能力 6）社会資源の利用】【ストレス】の 4 項目に留まった。

4) 行動制限群のうち処遇終了-入院群と通院移行群との初回入院継続申請時共通評価項目の比較：行動制限群のうち処遇終了-入院となった群と通院処遇へ移行した群とについて、Brown-Forsythe 検定にて初回入院継続申請時の共通評価項目の各下位項目を群間比較した結果を表7左側に示す。表7には解析4・5・6の結果を比較できるよう一括して表記した。

表7より、共通評価項目中項目・小項目合わせて78下位項目のうち60項目には有意差はなかったが、【生活能力】とその11の小項目をはじめとし、【精神病症状4)精神病的しぐさ】【内省・洞察2)対象行為以外の他害行為への内省】【内省・洞察4)対象行為の要因理解】【治療・ケアの継続性3)モニター】【治療・ケアの継続性4)セルフモニタリング】【治療・ケアの継続性5)緊急時の対応】の小項目、計18の小項目で有意な差が生じた。

5) 行動制限群のうち処遇終了-入院群と通院移行群の退院申請時共通評価項目の比較：行動制限群のうち処遇終了-入院となった群と通院処遇へ移行した群とについて、退院申請時の共通評価項目の各下位項目をBrown-Forsythe 検定にて群間比較した結果を表7中央に示す。

表7より、【自殺企図】【物質乱用】【非精神病性症状5)抑うつ】【衝動コントロール4)そそのかされる】等、計12の下位項目には有意差はなかったが、それ以外の66の下位項目に有意な群間差が認められた。

6) 行動制限群のうちの処遇終了-入院群の初回入院継続申請時と退院申請時の共通評価項目の比較：行動制限群のうちの処遇終了-入院群について、初回入院継続申請時と退院申請時の共通評価項目の各下位項目をフリードマン検定にて被験者内要因の比較をした結果を表7右側に示す。【生活能力1)生活能力】【衝動コントロール2)待つことができない】【対人暴力】【個人的支援】【コミュニティ要因】、【現実的計画】とその全ての小項目、【治療・ケアの継続性】とその小項目のうち4項目は初回入院継続申請時から退

院申請時にかけて有意な低減が認められた。一方で【治療効果】のみは退院申請時の評定が有意に高くなった。残りの58下位項目は統計的に有意な差は認められなかった。

この解析で19項目の下位項目には改善を認めたが、詳細な検討のため0点・1点・2点の評定ごとの人数を一覧にし、評定が改善(初回入院継続申請時>退院申請時)・不変(初回入院継続申請時=退院申請時)・悪化(初回入院継続申請時<退院申請時)した人数を表8に示した。改善を認めた項目は表8で項目名を太字で示す。退院先の環境調整に関わる【個人的支援】【コミュニティ要因】【現実的計画】【治療・ケアの継続性】とこれらの小項目で16%~40%の者に改善が認められた一方、【現実的計画】【治療・ケアの継続性】ともに中項目は8割の事例で2点のままであった。

7) 行動制限群のうちの通院移行群の初回入院継続申請時と退院申請時の共通評価項目の比較：行動制限群のうちの通院移行群について、初回入院継続申請時と退院申請時の共通評価項目の各下位項目をフリードマン検定にて被験者内要因の比較をした結果を表7右端に示す。【非精神病性症状8)知的障害】等の5つの小項目は統計的に有意な差は認められなかったが、それ以外の73下位項目には有意な差が認められた。

8) 行動制限群のうちの、処遇終了-入院群と通院移行群の初回入院継続申請時共通評価項目の評定数の比較：上記4(表7)、処遇終了-入院群と通院移行群とで初回入院継続申請時の共通評価項目にBrown-Forsythe 検定で一部に有意差が認められた【精神病症状】【内省・洞察】【生活能力】【治療・ケアの継続性】とそれらの小項目について、評定ごとの分布を確認するために0点・1点・2点の評定値ごとの人数を表9にまとめ、カイ2乗検定で比較した。上記4のBrown-Forsythe 検定で連続値とみなした共通評価項目の評定を名義尺度と扱って各評定の人数を示したため、カイ2乗検定の結果は先のBrown-

Forsythe 検定と同様の結果になる。ここで効果量として Cramer's V 0.2 以上を基準とすると、順に【生活能力 9) 孤立】【生活能力 8) 社会的引きこもり】【生活能力 2) 整容と衛生】【精神病症状 4) 精神病的なしぐさ】【生活能力 13) 余暇を有効に過ごせない】【生活能力 10) 活動性の低さ】【生活能力 1) 生活リズム】の 7 項目が抽出され、共通評価項目第 3 版では【活動性・社会性】に分類される小項目に比較的差がみられた。評定値ではいずれも初回入院継続申請時に 2 点が多い項目ではなく、処遇終了-入院群も通院移行群も 0 点・1 点・2 点に分散しているが、通院移行群では 2 点が少なく (12.2%~23.9%)、処遇終了-入院群では比較的 2 点が多い (29.6%~53.5%) という特徴がみられた。

#### D. 考察

「複雑事例のプロファイリングとセグメント化に関する研究」<sup>1)</sup>での解析の結果、医療観察法入院期間が 6 年を超えた事例よりも、頻回/長期行動制限を受けた対象者 (行動制限群) や処遇終了-入院に至ってしまった事例が課題であると考えられた。その結果を受けて本研究は 1) 行動制限群の転帰比較により、行動制限群に処遇終了-入院が多いことを再確認した (表 1~表 4)。次に 2) 先行研究<sup>1)</sup>で検証できなかった、複雑事例中核群以外の退院時の状態について退院申請時共通評価項目を用いて比較した。その結果、処遇終了-入院となった対象者は他の群よりも共通評価項目で評価される課題が多く残っていることが確認された (表 5~表 6)。一方で先行研究<sup>1)</sup>において課題とされた頻回/長期行動制限 (行動制限群) が退院申請時の状態に与える影響は、表 5~6 での行動制限群のダミー変数と共通評価項目の各下位項目との順位相関から、処遇終了-入院よりは限定的であった。これらの結果から、処遇終了-入院が「精神病症状、病識、対象行為の要因理解、生活能力などの点で改善が得られず、医療観察法医療を断念する形」であることが改めて確認された。

複雑事例中核群の解析<sup>1)</sup>では、処遇終了-入院群と通院移行群との、初回入院継続申請時と退院申請時の共通評価項目の下位項目の比較を通じ、頻回/長期行動制限を受け、かつ医療観察法入院が 6 年以上となった対象者であっても、状態が改善して通院処遇へ移行した群と、改善が得られず処遇終了-入院した群とに分かれた。処遇終了-入院は入院半年以内から 12 年以上にまで分布しており、入院日数は通院移行群と差がない<sup>2)</sup>ことから、複雑事例中核群と同様に行動制限群も状態が改善して通院処遇へ移行した群と、改善せず処遇終了-入院に至る群とに分かれると予想された。先行研究<sup>1)</sup>と同様に、行動制限群について、処遇終了-入院群と通院処遇へ移行した群との、初回入院継続申請時と退院申請時の共通評価項目の下位項目の比較を行った (表 7)。その結果、初回入院継続申請時には群間差のない項目が多く、退院申請時にはほとんどの下位項目で群間差があること、初回入院継続申請時と退院申請時の個人内比較では処遇終了-入院群において差が小さく、通院処遇へ移行した群では大部分の項目で有意差が認められた。よって、複雑事例中核群と同様に、行動制限群も状態が改善して通院処遇へ移行した群と、改善せず処遇終了-入院に至る群とに分かれると言える。

ただし行動制限群のうち処遇終了-入院群でも、退院先の環境調整に関わる【個人的支援】【コミュニティ要因】【現実的計画】【治療・ケアの継続性】とこれらの小項目等で等々有意な改善が認められ (表 7)、16%~40%の者に改善が認められた (表 8) ことから、一部の対象者では処遇終了-入院とするに当たっても一定の地域調整がなされていると考えられる。

先行研究では複雑事例中核群で初回入院継続申請時の共通評価項目を処遇終了-入院群と通院移行群とで比較したところ、有意な群間差が認められたのは【生活能力】など 4 下位項目に留まった<sup>1,2)</sup>。本研究では先行研究<sup>1,2)</sup>より N が多い影響もあり、【生活能力】等 18 下位項目に初回入院継

続申請時から有意な群間差が認められた。初回入院継続申請時の群間差には、何らか処遇終了-入院に至りやすい要因が潜んでいることが考えられる。改めて表9にて評定の分布を確認し、カイ2乗検定を行って効果量Cramer's Vを比較したところ、共通評価項目第3版で【活動性・社会性】に分類される小項目である【生活能力9) 孤立】【生活能力8) 社会的引きこもり】【生活能力10) 活動性の低さ】【生活能力1) 生活リズム】と【精神病症状4) 精神病的なしぐさ】に差を認めた。これらはいずれも初回入院継続申請時に2点が多い項目ではなく、処遇終了-入院群も通院移行群も0点・1点・2点に分散している項目であったことから、活動性・社会性の低さが処遇終了-入院に至る決定的な要因というわけではなく、活動性・社会性の低さが治療の進展の障害になって、結果として処遇終了-入院に至った一群の存在が疑われる。

## E. 結論

本研究は先行研究<sup>1)</sup>で課題として抽出された、処遇終了-入院および頻回/長期行動制限について、退院申請時共通評価項目などからその状態を検討した。その結果、頻回/長期行動制限を受けると処遇終了-入院となりやすく、複雑事例中核群と同様に、処遇終了-入院となった群は退院申請時の共通評価項目にて評価される状態が改善していない面が多いことが明らかになった。

頻回/長期行動制限を受けた群(行動制限群)の中で処遇終了-入院となった群と通院処遇へ移行した群とを比較すると、両者は初回入院継続申請時には差が小さく、後者は多くの点で改善が得られているのに対し、前者は改善が少なく、退院申請時には多くの面で両者の差がみられた。つまり頻回/長期行動制限を受けた群の中でも、状態の改善が得られて通院処遇へ移行した群と、改善せず処遇終了-入院に至った群とがあることが確認された。一方、頻回/長期の行動制限から処遇終了-入院に至った群の中には、入院序盤から活動

性・社会性などに課題があり、そこから処遇終了-入院につながった一群が潜んでいることが疑われた。

この一群の探索と要因の抽出、および処遇終了-入院の要因分析が、次年度の課題となる。最終的には、要因の抽出によって、処遇終了-入院を減らすことにつながる提言を目指したい。

## F. 健康危険情報

なし

## G. 研究発表

### 1. 論文発表

なし

### 2. 学会発表

壁屋康洋, 村杉謙次, 高野真弘: 医療観察法入院医療における複雑事例のプロファイリングとセグメント化に関する研究(9)入院データベースを用いた分析. 第75回国立病院総合医学会, Web開催, 会期2021.10.23-11.20

## H. 知的財産権の出願・登録状況

### 1. 特許取得

なし

### 2. 実用新案登録

なし

### 3. その他

なし

## I. 謝辞

本研究にあたり、データの抽出・加工にご尽力をいただいた、国立精神・医療研究センターの重度精神疾患標準的治療法確立事業のデータの利活用に関する研究事業運営事務局に深謝致します。

## 参考文献

- 1) 壁屋康洋, 村杉謙次, 高野真弘: 複雑事例のプロファイリングとセグメント化に関する研究. 厚生労働科学研究費補助金障害者政策総合研究事業(精神障害分野) 医療観察法の制度対象者の治療・支援体制の整備のための研究(研究代表者: 平林直次) 令和2年度分担研究報告書, 2021.
- 2) 壁屋康洋, 村杉謙次, 高野真弘, 山本哲裕ら: 複雑事例のプロファイリングとセグメント化に関する研究. 厚生労働科学研究費補助金障害者政策総合研究事業(精神障害分野) 医療観察法の制度対象者の治療・支援体制の整備のための研究(研究代表者: 平林直次) 平成30年度～令和2年度総合研究報告書, 2021.
- 3) 村杉謙次, 平林直次, 田口寿子, 柏木宏子ら: 多様で複雑な事例の個別調査及び治療・処遇に関する研究. 厚生労働科学研究費補助金障害者政策総合研究事業(精神障害分野) 医療観察法の制度対象者の治療・支援体制の整備のための研究(研究代表者: 平林直次) 平成30年度分担研究報告書, 2019.



表1 行動制限群と対照群との転帰比較

	死亡		死亡		処遇終了		処遇終了		処遇終了		通院処遇		通院処遇		通院処遇		合計
	抗争退院	(自殺)	(病死)	(病死)	-医療なし	-通院	-入院	-施設入所	-施設入所	-施設入所	-施設入所	-施設入所	-施設入所	-施設入所	-施設入所	-施設入所	
行動制限群	0	0	6	9	19	88	31	69	40	61	323						
対照群	14	14	12	25	124	213	544	820	522	316	2604						
合計	14	14	18	34	143	301	575	889	562	377	2927						

表2 期待度数

	死亡		死亡		処遇終了		処遇終了		処遇終了		通院処遇		通院処遇		通院処遇	
	抗争退院	(自殺)	(病死)	(病死)	-医療なし	-通院	-入院	-施設入所	-施設入所	-施設入所	-施設入所	-施設入所	-施設入所	-施設入所	-施設入所	-施設入所
行動制限群	1.54	1.54	1.99	3.75	15.78	33.22	63.45	98.10	62.02	41.60						
対照群	12.46	12.46	16.01	30.25	127.22	267.78	511.55	790.90	499.98	335.40						

表3 残差

	死亡		死亡		処遇終了		処遇終了		処遇終了		通院処遇		通院処遇		通院処遇	
	抗争退院	(自殺)	(病死)	(病死)	-医療なし	-通院	-入院	-施設入所	-施設入所	-施設入所	-施設入所	-施設入所	-施設入所	-施設入所	-施設入所	-施設入所
行動制限群	-1.54	-1.54	4.01	5.25	3.22	54.78	-32.45	-29.10	-22.02	19.40						
対照群	1.54	1.54	-4.01	-5.25	-3.22	-54.78	32.45	29.10	22.02	-19.40						

表4 調整済み標準化残差 (両側p値)

	死亡		死亡		処遇終了		処遇終了		処遇終了		通院処遇		通院処遇		通院処遇	
	抗争退院	(自殺)	(病死)	(病死)	-医療なし	-通院	-入院	-施設入所	-施設入所	-施設入所	-施設入所	-施設入所	-施設入所	-施設入所	-施設入所	-施設入所
行動制限群	0.187	0.187	0.002	0.004	0.378	0.000	0.000	0.000	0.001	0.001						
対照群	0.187	0.187	0.002	0.004	0.378	0.000	0.000	0.000	0.001	0.001						

表5 転帰ごとの退院申請時第2版共通評価項目下位項目の比較

		処遇終了 -医療なし n=18		処遇終了 -入院 n=105		処遇終了 -入院 n=219		通院処遇 -家族同居 n=436		通院処遇 -施設入所 n=685		通院処遇 -単身 n=431		通院処遇 -入院 n=312		Brow- Forsythe 検定	多重比較 (Scheffe)	
		平均	SD	平均	SD	平均	SD	平均	SD	平均	SD	平均	SD	平均	SD			
精神医学的要素	精神 病 症 状 の 小 目 的	1. 精神病症状																
		1) 通常でない思考	0.89	0.90	0.61	0.73	<b>1.33</b>	0.80	0.58	0.72	0.61	0.66	0.58	0.68	0.75	0.75	**	処遇終了-入院>通院移行4群,処遇終了-通院
		2) 幻覚に基づいた行動	0.72	0.89	0.30	0.59	<b>0.95</b>	0.89	0.34	0.52	0.38	0.57	0.29	0.55	0.44	0.65	**	処遇終了-入院>通院移行4群,処遇終了-通院
		3) 概念の統合障害	0.56	0.78	0.39	0.63	<b>0.92</b>	0.82	0.29	0.51	0.39	0.55	0.27	0.51	0.51	0.65	**	処遇終了-入院>通院移行4群,処遇終了-通院
		4) 精神病的しぐさ	0.33	0.59	0.23	0.54	<b>0.70</b>	0.77	0.17	0.44	0.21	0.44	0.16	0.41	0.31	0.53	**	処遇終了-入院>通院移行4群,処遇終了-通院
		5) 不適切な疑惑	0.83	0.92	0.46	0.67	<b>1.06</b>	0.86	0.42	0.65	0.47	0.62	0.41	0.60	0.57	0.67	**	処遇終了-入院>通院移行4群,処遇終了-通院
	6) 誇大性	0.33	0.69	0.25	0.51	<b>0.44</b>	0.71	0.12	0.37	0.16	0.41	0.14	0.41	0.20	0.48	**	処遇終了-入院>通院移行4群,処遇終了-通院	
	2. 非精神病性症状																	
	1) 興奮・躁状態	0.33	0.69	0.36	0.67	0.56	0.72	0.16	0.41	0.18	0.42	0.16	0.43	0.19	0.43	**	処遇終了-入院>通院移行4群	
	2) 不安・緊張	0.72	0.75	0.63	0.65	<b>0.93</b>	0.71	0.59	0.60	0.67	0.54	0.57	0.56	0.69	0.57	**	処遇終了-入院>通院移行4群,処遇終了-通院	
3) 怒り	0.61	0.78	0.61	0.78	0.74	0.77	0.18	0.44	0.20	0.45	0.27	0.53	0.30	0.55	**	処遇終了-入院>通院移行4群		
4) 感情の平板化	0.28	0.57	0.22	0.52	<b>0.54</b>	0.68	0.28	0.50	0.30	0.48	0.20	0.42	0.38	0.52	**	処遇終了-入院>通院移行4群,処遇終了-通院		
5) 抑うつ	0.33	0.59	0.18	0.46	0.24	0.52	0.11	0.32	0.14	0.37	0.12	0.34	0.13	0.38	**	処遇終了-入院>通院移行-家族同居,単身		
6) 罪悪感	0.17	0.51	0.04	0.19	0.13	0.40	0.09	0.32	0.06	0.25	0.06	0.26	0.06	0.27	n. s.			
7) 解離	0.22	0.65	0.02	0.14	0.05	0.25	0.02	0.17	0.02	0.13	0.01	0.11	0.02	0.16	n. s.			
8) 知的障害	0.94	1.00	0.83	0.89	1.01	0.86	0.49	0.73	0.72	0.81	0.37	0.62	0.73	0.82	**	処遇終了-入院>通院移行4群		
9) 意識障害	0.39	0.78	0.07	0.29	0.09	0.37	0.02	0.16	0.00	0.07	0.01	0.11	0.02	0.18	**	処遇終了-入院>通院移行4群 処遇終了-入院<処遇終了-医療なし		
3. 自殺企図																		
		0.44	0.62	0.09	0.31	0.17	0.45	0.06	0.26	0.07	0.27	0.04	0.22	0.09	0.31	**	処遇終了-入院>通院移行-家族同居,施設入所,単身 処遇終了-入院<処遇終了-医療なし	
個人心理的要素	内 省 ・ 洞 察 の 小 目 的	4. 内省・洞察																
		1) 対象行為への内省	1.28	0.67	1.01	0.73	1.17	0.63	0.51	0.56	0.60	0.58	0.58	0.59	0.68	0.60	**	処遇終了-入院>通院移行4群
		2) 対象行為以外の他害行為への内省	1.06	0.73	0.86	0.81	1.07	0.82	0.42	0.60	0.48	0.64	0.62	0.70	0.62	0.70	**	処遇終了-入院>通院移行4群
		3) 病識	1.33	0.77	1.02	0.75	<b>1.38</b>	0.64	0.60	0.60	0.65	0.57	0.60	0.60	0.81	0.64	**	処遇終了-入院>通院移行4群,処遇終了-通院
		4) 対象行為の要因理解	1.50	0.71	1.23	0.79	<b>1.61</b>	0.62	0.71	0.68	0.78	0.64	0.73	0.65	0.90	0.69	**	処遇終了-入院>通院移行4群,処遇終了-通院
	5. 生活能力	1.61	0.78	1.34	0.70	<b>1.76</b>	0.51	1.00	0.64	1.19	0.58	1.03	0.63	1.40	0.62	**	処遇終了-入院>通院移行4群,処遇終了-通院	
	生 活 能 力 の 小 目 的	1) 生活リズム	0.83	0.92	0.36	0.59	<b>0.69</b>	0.70	0.19	0.42	0.28	0.50	0.20	0.43	0.29	0.51	**	処遇終了-入院>通院移行4群,処遇終了-通院
		2) 整容と衛生	0.94	0.87	0.36	0.62	<b>0.79</b>	0.76	0.20	0.44	0.28	0.48	0.21	0.44	0.40	0.56	**	処遇終了-入院>通院移行4群,処遇終了-通院
		3) 金銭管理	1.00	0.77	0.63	0.79	<b>1.00</b>	0.78	0.28	0.54	0.54	0.62	0.33	0.55	0.59	0.69	**	処遇終了-入院>通院移行4群,処遇終了-通院
		4) 家事や料理をしない	1.06	0.87	0.71	0.77	<b>1.08</b>	0.76	0.35	0.54	0.50	0.57	0.35	0.56	0.62	0.66	**	処遇終了-入院>通院移行4群,処遇終了-通院
5) 安全管理		0.94	0.94	0.50	0.74	<b>0.87</b>	0.83	0.19	0.47	0.26	0.50	0.18	0.45	0.35	0.61	**	処遇終了-入院>通院移行4群,処遇終了-通院	
6) 社会資源の利用		0.89	0.83	0.56	0.77	<b>1.07</b>	0.83	0.22	0.48	0.37	0.58	0.15	0.40	0.58	0.69	**	処遇終了-入院>通院移行4群,処遇終了-通院	
7) コミュニケーション		0.72	0.83	0.53	0.59	<b>0.91</b>	0.72	0.46	0.55	0.49	0.54	0.43	0.55	0.61	0.63	**	処遇終了-入院>通院移行4群,処遇終了-通院	
8) 社会的引きこもり		0.72	0.89	0.43	0.62	<b>0.79</b>	0.78	0.27	0.47	0.28	0.47	0.24	0.45	0.34	0.55	**	処遇終了-入院>通院移行4群,処遇終了-通院	
9) 孤立		0.78	0.88	0.56	0.69	<b>1.01</b>	0.78	0.38	0.57	0.39	0.55	0.37	0.55	0.53	0.66	**	処遇終了-入院>通院移行4群,処遇終了-通院	
10) 活動性の低さ		0.78	0.81	0.38	0.61	<b>0.81</b>	0.72	0.26	0.46	0.28	0.47	0.26	0.48	0.38	0.59	**	処遇終了-入院>通院移行4群,処遇終了-通院	
11) 生産的活動・役割		1.33	0.84	0.96	0.85	<b>1.44</b>	0.74	0.51	0.67	0.68	0.73	0.52	0.70	1.04	0.78	**	処遇終了-入院>通院移行4群,処遇終了-通院	
12) 過度の依存		0.67	0.84	0.35	0.64	0.38	0.65	0.21	0.47	0.21	0.46	0.17	0.41	0.23	0.48	**	処遇終了-入院>通院移行-家族同居,施設入所,単身	
13) 余暇を有効に過ごせない		0.67	0.84	0.45	0.66	<b>0.71</b>	0.76	0.30	0.51	0.31	0.50	0.25	0.45	0.43	0.62	**	処遇終了-入院>通院移行4群,処遇終了-通院	
14) 施設への過剰適応		0.44	0.62	0.16	0.46	0.36	0.63	0.05	0.24	0.08	0.29	0.05	0.24	0.12	0.36	**	処遇終了-入院>通院移行4群	
衝 動 の 小 目 的	6. 衝動コントロール																	
	1) 一貫性のない行動	0.89	0.96	0.46	0.69	<b>0.70</b>	0.83	0.21	0.48	0.31	0.54	0.23	0.51	0.29	0.53	**	処遇終了-入院>通院移行4群,処遇終了-通院	
	2) 待つことができない	1.06	0.94	0.37	0.65	0.58	0.76	0.20	0.46	0.23	0.46	0.18	0.44	0.31	0.55	**	処遇終了-入院>通院移行4群	
	3) 先の予測をしない	1.06	0.94	0.58	0.76	0.85	0.85	0.37	0.61	0.48	0.61	0.36	0.58	0.53	0.68	**	処遇終了-入院>通院移行4群 処遇終了-入院<処遇終了-医療なし	
	4) そのほかされる	0.61	0.85	0.27	0.54	0.26	0.59	0.19	0.49	0.26	0.51	0.14	0.38	0.21	0.48	**	n. s.	
5) 怒りの感情の行動化	0.78	0.94	0.62	0.76	0.75	0.82	0.16	0.44	0.20	0.47	0.23	0.52	0.28	0.55	**	処遇終了-入院>通院移行4群		
7. 共感性																		
0.83	0.79	0.81	0.67	1.03	0.58	0.57	0.55	0.64	0.53	0.64	0.53	0.65	0.65	0.55	**	処遇終了-入院>通院移行4群		
8. 非社会性																		
1.11	0.90	0.55	0.82	0.55	0.79	0.20	0.48	0.29	0.57	0.28	0.58	0.25	0.59	**	処遇終了-入院>通院移行4群 処遇終了-入院<処遇終了-医療なし			
対人関係的要素	非 社 会 性 の 小 目 的	1) 侮蔑的な言葉	0.33	0.69	0.16	0.48	0.15	0.45	0.04	0.24	0.04	0.22	0.05	0.26	0.04	0.24	**	処遇終了-入院>通院移行4群
		2) 社会的規範の蔑視	0.50	0.86	0.30	0.65	0.26	0.59	0.08	0.31	0.12	0.40	0.11	0.38	0.11	0.40	**	処遇終了-入院>通院移行4群
		3) 犯罪志向的態度	0.56	0.92	0.21	0.53	0.09	0.37	0.03	0.17	0.06	0.27	0.06	0.30	0.06	0.31	**	処遇終了-入院<処遇終了-医療なし
		4) 特定の人を害する	0.11	0.47	0.21	0.58	0.22	0.56	0.06	0.27	0.06	0.28	0.09	0.35	0.07	0.31	**	処遇終了-入院>通院移行4群
		5) 他者を脅す	0.50	0.86	0.21	0.58	0.16	0.50	0.02	0.18	0.03	0.18	0.09	0.36	0.04	0.24	**	処遇終了-入院>通院移行-家族同居,施設入所,入院 処遇終了-入院<処遇終了-医療なし
		6) だます、嘘を言う	0.56	0.86	0.25	0.62	0.16	0.48	0.06	0.26	0.09	0.32	0.06	0.24	0.05	0.21	**	処遇終了-入院>通院移行-家族同居,単身,入院 処遇終了-入院<処遇終了-医療なし
		7) 故意の器物破壊	0.39	0.78	0.12	0.43	0.11	0.43	0.00	0.07	0.03	0.20	0.04	0.26	0.02	0.19	**	処遇終了-入院>通院移行-家族同居,施設入所,入院 処遇終了-入院<処遇終了-医療なし
		8) 犯罪的交友関係	0.50	0.86	0.05	0.25	0.04	0.22	0.04	0.23	0.06	0.28	0.05	0.27	0.02	0.13	**	処遇終了-入院<処遇終了-医療なし
		9) 性的逸脱行動	0.50	0.79	0.15	0.48	0.19	0.50	0.06	0.29	0.04	0.23	0.03	0.19	0.04	0.20	**	処遇終了-入院>通院移行4群
		10) 放火の兆し	0.39	0.78	0.05	0.29	0.09	0.39	0.03	0.18	0.03	0.22	0.03	0.21	0.03	0.24	*	処遇終了-入院<処遇終了-医療なし
9. 対人暴力																		
0.61	0.92	0.35	0.72	0.40	0.73	0.07	0.34	0.07	0.33	0.08	0.36	0.13	0.42	**	処遇終了-入院>通院移行4群			
10. 個人的支援																		
1.11	0.68	1.04	0.73	1.16	0.62	0.62	0.58	0.96	0.63	0.93	0.63	1.04	0.66	**	処遇終了-入院>通院移行-家族同居,施設入所,単身			
11. コミュニティ要因																		
1.28	0.89	0.89	0.82	<b>1.37</b>	0.76	0.50	0.60	0.46	0.61	0.60	0.67	0.74	0.73	**	処遇終了-入院>通院移行4群,処遇終了-通院			
12. ストレス																		
1.56	0.62	1.27	0.61	<b>1.58</b>	0.53	1.12	0.48	1.10	0.49	1.07	0.47	1.29	0.53	**	処遇終了-入院>通院移行4群,処遇終了-通院			
13. 物質乱用																		
0.72	0.89	0.60	0.75	0.37	0.64	0.30	0.54	0.38	0.61	0.41	0.63	0.35	0.60	**	n. s.			
14. 現実的計画																		
1.78	0.43	1.33	0.78	<b>1.71</b>	0.61	0.94	0.74	1.07	0.69	1.16	0.70	1.34	0.66	**	処遇終了-入院>通院移行4群,処遇終了-通院			
環 境 的 要 素	現 実 的 計 画 の 小 目 的	1) 退院後の治療プランへの同意	1.56	0.70	0.75	0.86	<b>1.35</b>	0.80	0.43	0.68	0.45	0.65	0.52	0.72	0.60	0.72	**	処遇終了-入院>通院移行4群,処遇終了-通院
		2) 日中活動	1.50	0.86	0.91	0.86	<b>1.42</b>	0.77	0.46	0.69	0.50	0.69	0.61	0.73	0.84	0.75	**	処遇終了-入院>通院移行4群,処遇終了-通院
		3) 住居	1.															

表6 転帰と退院申請時第2版共通評価項目下位項目の相関（ダミー変数によるスピアマンの順位相関係数）

母数=2211		処遇終了 -医療なし n=18	処遇終了 -入院 n=105	処遇終了 -入院 n=219	通院処遇 -家族同居 n=436	通院処遇 -施設入所 n=685	通院処遇 -単身 n=431	通院処遇 -入院 n=312	行動制限群 n=239
精神医学的要素	1. 精神病症状	0.010	-0.017	<b>0.291</b>	-0.109	-0.055	-0.071	0.037	0.132
	小項目								
	1) 通常でない思考	0.019	-0.026	<b>0.262</b>	-0.081	-0.055	-0.071	0.033	0.122
	2) 幻覚に基づいた行動	0.031	-0.043	<b>0.225</b>	-0.054	-0.016	-0.093	0.014	0.127
	3) 概念の統合障害	0.013	-0.014	<b>0.231</b>	-0.101	-0.009	-0.116	0.067	0.166
	4) 精神病的しぐさ	0.013	-0.022	<b>0.252</b>	-0.090	-0.042	-0.085	0.050	0.161
	5) 不適切な疑惑	0.030	-0.024	<b>0.221</b>	-0.078	-0.034	-0.074	0.036	0.108
	6) 誇大性	0.020	0.035	0.154	-0.066	-0.022	-0.053	0.006	0.067
	2. 非精神病性症状	0.039	0.037	<b>0.234</b>	-0.110	0.018	-0.141	0.029	<b>0.206</b>
	非精神病性小項目								
1) 興奮・躁状態	0.012	0.048	<b>0.218</b>	-0.061	-0.045	-0.065	-0.015	0.194	
2) 不安・緊張	0.004	-0.018	0.127	-0.064	0.029	-0.075	0.021	0.130	
3) 怒り	0.045	0.093	<b>0.243</b>	-0.106	-0.104	-0.025	0.010	0.190	
4) 感情の平板化	-0.010	-0.050	0.126	-0.027	0.001	-0.095	0.064	0.047	
5) 抑うつ	0.040	0.015	0.072	-0.042	0.005	-0.026	-0.011	0.028	
6) 罪悪感	0.016	-0.027	0.055	0.023	-0.020	-0.016	-0.017	0.010	
7) 解離	0.065	0.002	0.048	-0.015	-0.009	-0.023	-0.005	0.097	
8) 知的障害	0.027	0.045	0.149	-0.096	0.066	-0.165	0.046	0.149	
9) 意識障害	0.144	0.068	0.119	-0.022	-0.066	-0.048	-0.014	0.044	
3. 自殺企図	0.114	0.006	0.089	-0.025	-0.023	-0.055	0.011	0.087	
4. 内省・洞察	0.082	0.086	<b>0.335</b>	-0.149	-0.102	-0.086	0.040	0.162	
目									
1) 対象行為への内省	0.080	0.108	<b>0.251</b>	-0.120	-0.070	-0.071	0.008	0.133	
2) 対象行為以外の他害行為への内省	0.061	0.078	<b>0.209</b>	-0.106	-0.085	-0.030	0.026	0.175	
3) 病識	0.073	0.084	<b>0.297</b>	-0.108	-0.091	-0.107	0.041	0.178	
4) 対象行為の要因理解	0.076	0.104	<b>0.325</b>	-0.120	-0.090	-0.102	0.011	0.143	
5. 生活能力	0.062	0.048	<b>0.290</b>	-0.168	-0.040	-0.147	0.118	0.183	
個人心理的要素									
1) 生活リズム	0.063	0.024	<b>0.231</b>	-0.091	-0.018	-0.086	-0.004	0.133	
2) 整容と衛生	0.079	0.005	<b>0.242</b>	-0.109	-0.042	-0.103	0.067	0.167	
3) 金銭管理	0.064	0.028	<b>0.230</b>	-0.178	0.053	-0.131	0.051	0.148	
4) 家事や料理をしない	0.060	0.052	<b>0.254</b>	-0.133	-0.009	-0.144	0.061	<b>0.201</b>	
5) 安全管理	0.075	0.062	<b>0.279</b>	-0.113	-0.047	-0.113	0.024	0.197	
6) 社会資源の利用	0.062	0.042	<b>0.298</b>	-0.142	-0.020	-0.201	0.119	<b>0.206</b>	
7) コミュニケーション	0.017	0.000	0.182	-0.060	-0.036	-0.082	0.049	0.115	
8) 社会的引きこもり	0.041	0.033	<b>0.230</b>	-0.056	-0.057	-0.080	0.002	0.111	
9) 孤立	0.031	0.025	<b>0.244</b>	-0.071	-0.074	-0.075	0.032	0.119	
10) 活動性の低さ	0.057	0.006	<b>0.251</b>	-0.075	-0.064	-0.073	0.021	0.113	
11) 生産的活動・役割	0.063	0.054	<b>0.275</b>	-0.155	-0.061	-0.154	0.148	0.162	
12) 過度の依存	0.062	0.043	0.081	-0.025	-0.015	-0.061	0.005	0.123	
13) 余暇を有効に過ごせない	0.035	0.024	0.175	-0.046	-0.049	-0.089	0.045	0.091	
14) 施設への過剰適応	0.092	0.025	<b>0.211</b>	-0.088	-0.035	-0.083	0.022	0.092	
6. 衝動コントロール	0.073	0.065	0.199	-0.092	-0.017	-0.098	0.008	0.193	
項目									
1) 一貫性のない行動	0.063	0.046	0.179	-0.097	0.009	-0.079	-0.010	0.175	
2) 待つことができない	0.098	0.029	0.161	-0.061	-0.038	-0.086	0.036	0.171	
3) 先の予測をしない	0.061	0.024	0.152	-0.090	0.016	-0.092	0.025	0.182	
4) そそのかされる	0.054	0.021	0.013	-0.033	0.068	-0.069	-0.011	0.112	
5) 怒りの感情の行動化	0.058	0.125	<b>0.244</b>	-0.111	-0.092	-0.051	0.006	0.186	
7. 共感性	0.017	0.043	0.192	-0.089	-0.040	-0.024	-0.014	0.119	
8. 非社会性	0.104	0.072	0.115	-0.077	-0.005	-0.023	-0.049	0.131	
対人関係的要素									
1) 侮辱的な言葉	0.076	0.072	0.098	-0.041	-0.030	-0.029	-0.029	0.131	
2) 社会的規範の蔑視	0.057	0.068	0.090	-0.049	-0.017	-0.020	-0.033	0.145	
3) 犯罪志向的態度	0.102	0.110	0.019	-0.058	-0.008	-0.013	-0.017	0.054	
4) 特定の人を害する	-0.004	0.052	0.111	-0.036	-0.039	-0.006	-0.027	0.121	
5) 他者を脅す	0.102	0.084	0.101	-0.066	-0.070	0.033	-0.034	0.105	
6) だます、嘘を言う	0.093	0.070	0.057	-0.042	0.016	-0.041	-0.042	0.071	
7) 故意の器物破損	0.107	0.078	0.091	-0.071	-0.031	-0.001	-0.030	0.153	
8) 犯罪的交友関係	0.116	0.000	-0.003	-0.027	0.050	-0.014	-0.047	0.007	
9) 性的逸脱行動	0.122	0.060	0.138	-0.015	-0.055	-0.058	-0.031	0.127	
10) 放火の兆し	0.119	0.007	0.059	-0.010	-0.027	-0.024	-0.012	0.071	
9. 対人暴力	0.082	0.099	<b>0.205</b>	-0.065	-0.096	-0.051	0.003	0.190	
10. 個人的支援	0.026	0.037	0.123	-0.233	0.035	0.008	0.075	0.040	
11. コミュニティ要因	0.068	0.064	<b>0.299</b>	-0.092	-0.172	-0.028	0.052	0.076	
12. ストレス	0.067	0.039	<b>0.257</b>	-0.063	-0.115	-0.107	0.083	<b>0.210</b>	
13. 物質乱用	0.037	0.072	-0.014	-0.056	0.005	0.032	-0.020	-0.023	
14. 現実的計画	0.076	0.051	<b>0.252</b>	-0.165	-0.111	-0.016	0.087	0.088	
環境的要素									
1) 退院後の治療プランへの同意	0.106	0.039	<b>0.305</b>	-0.109	-0.114	-0.045	0.015	0.103	
2) 日中活動	0.084	0.062	<b>0.294</b>	-0.143	-0.150	-0.038	0.093	0.096	
3) 住居	0.077	0.047	<b>0.324</b>	-0.161	-0.166	-0.065	0.152	0.112	
4) 生活費	0.072	0.056	0.102	-0.056	-0.050	0.022	-0.034	0.022	
5) 緊急時の対応	0.072	0.063	<b>0.250</b>	-0.119	-0.108	-0.030	0.041	0.085	
6) 関係機関との連携・協力体制	0.091	0.069	<b>0.270</b>	-0.101	-0.128	-0.040	0.034	0.087	
7) キーパーソン	0.035	0.040	0.158	-0.188	-0.001	0.014	0.031	0.023	
8) 地域への受け入れ体制	0.079	0.041	<b>0.287</b>	-0.115	-0.134	-0.036	0.059	0.076	
15. コンプライアンス	0.070	0.077	<b>0.294</b>	-0.104	-0.104	-0.074	0.024	0.158	
16. 治療効果	0.074	0.075	<b>0.319</b>	-0.145	-0.069	-0.120	0.055	0.159	
17. 治療・ケアの継続性	0.070	0.073	<b>0.299</b>	-0.119	-0.124	-0.045	0.041	0.096	
治療的要素									
1) 治療同盟	0.096	0.036	<b>0.306</b>	-0.103	-0.097	-0.081	0.030	0.156	
2) 予防	0.092	0.054	<b>0.292</b>	-0.083	-0.123	-0.069	0.029	0.118	
3) モニター	0.096	0.061	<b>0.264</b>	-0.104	-0.108	-0.055	0.036	0.093	
4) セルフモニタリング	0.077	0.071	<b>0.314</b>	-0.119	-0.112	-0.085	0.049	0.162	
5) 緊急時の対応	0.083	0.072	<b>0.299</b>	-0.123	-0.148	-0.027	0.046	0.114	

表7 行動制限のうら、処遇終了入院群と通院処遇へ移行した群の第2版共通評価項目の比較

	初回入院継続申請				Brown-Forsythe検定	退院申請時				Brown-Forsythe検定	行動制限群 →処遇終了入院 n=57における フリードマン検定	行動制限群 →通院移行 n=144における フリードマン検定	
	行動制限群 →処遇終了入院 n=71	行動制限群 →通院移行 n=18	平均	SD		平均	SD	平均	SD				
第2版共通評価項目	平均	SD	平均	SD		平均	SD	平均	SD				
1. 精神病症状	1.65	0.63	1.61	0.62	n.s.	1.58	0.62	1.00	0.68	処遇終了入院>通院移行	n.s.	初回入院継続時>退院申請時	
精神 小項目 病状の 低 目	1.49	0.73	1.45	0.76	n.s.	1.35	0.76	0.80	0.69	処遇終了入院>通院移行	n.s.	初回入院継続時>退院申請時	
2) 幻覚に基づいた行動	1.28	0.88	1.09	0.88	n.s.	1.16	0.90	0.51	0.69	処遇終了入院>通院移行	n.s.	初回入院継続時>退院申請時	
3) 概念の統合障害	1.13	0.86	1.02	0.82	n.s.	1.04	0.81	0.60	0.62	処遇終了入院>通院移行	n.s.	初回入院継続時>退院申請時	
4) 精神的にくさ	1.11	0.90	0.80	0.80	処遇終了入院>通院移行	0.91	0.82	0.36	0.57	処遇終了入院>通院移行	n.s.	初回入院継続時>退院申請時	
5) 不適切な疑念	1.08	0.91	1.20	0.81	n.s.	1.14	0.83	0.58	0.67	処遇終了入院>通院移行	n.s.	初回入院継続時>退院申請時	
6) 露伴	0.46	0.77	0.54	0.78	n.s.	0.49	0.68	0.16	0.42	処遇終了入院>通院移行	n.s.	初回入院継続時>退院申請時	
2. 非精神病性症状	1.77	0.41	1.77	0.44	n.s.	1.81	0.43	1.35	0.57	処遇終了入院>通院移行	n.s.	初回入院継続時>退院申請時	
非 目 病 目	1) 興奮・脱状	0.93	0.85	0.94	0.84	n.s.	0.84	0.78	0.33	0.55	処遇終了入院>通院移行	n.s.	初回入院継続時>退院申請時
2) 不安・緊張	1.20	0.77	1.21	0.70	n.s.	1.16	0.72	0.79	0.58	処遇終了入院>通院移行	n.s.	初回入院継続時>退院申請時	
3) 怒り	1.06	0.81	1.09	0.85	n.s.	1.04	0.78	0.38	0.59	処遇終了入院>通院移行	n.s.	初回入院継続時>退院申請時	
4) 感情の平板化	0.65	0.78	0.55	0.70	n.s.	0.54	0.65	0.32	0.51	処遇終了入院>通院移行	n.s.	初回入院継続時>退院申請時	
5) 抑うつ	0.30	0.60	0.36	0.63	n.s.	0.22	0.51	0.14	0.37	n.s.	n.s.	初回入院継続時>退院申請時	
6) 罪悪感	0.15	0.50	0.21	0.48	n.s.	0.19	0.52	0.05	0.21	処遇終了入院>通院移行	n.s.	初回入院継続時>退院申請時	
7) 解離	0.14	0.46	0.06	0.28	n.s.	0.12	0.40	0.03	0.18	n.s.	n.s.	初回入院継続時>退院申請時	
8) 知的障害	1.14	0.90	0.92	0.86	n.s.	1.22	0.87	0.84	0.81	処遇終了入院>通院移行	n.s.	n.s.	
9) 意識障害	0.11	0.43	0.08	0.36	n.s.	0.13	0.48	0.01	0.16	n.s.	n.s.	初回入院継続時>退院申請時	
3. 自殺企図	0.34	0.65	0.29	0.57	n.s.	0.22	0.51	0.09	0.31	n.s.	n.s.	初回入院継続時>退院申請時	
4. 内省・洞察	1.83	0.38	1.78	0.45	n.s.	1.81	0.39	1.16	0.61	処遇終了入院>通院移行	n.s.	初回入院継続時>退院申請時	
目	1) 対象行為の内容	1.45	0.56	1.30	0.58	n.s.	1.33	0.63	0.68	0.58	処遇終了入院>通院移行	n.s.	初回入院継続時>退院申請時
2) 対象行為以外の他害行為への内省	1.46	0.75	1.18	0.77	処遇終了入院>通院移行	1.29	0.79	0.74	0.70	処遇終了入院>通院移行	n.s.	初回入院継続時>退院申請時	
3) 病識	1.49	0.61	1.38	0.60	n.s.	1.54	0.61	0.85	0.60	処遇終了入院>通院移行	n.s.	初回入院継続時>退院申請時	
4) 対象行為の要因理解	1.79	0.44	1.64	0.60	処遇終了入院>通院移行	1.67	0.56	0.92	0.67	処遇終了入院>通院移行	n.s.	初回入院継続時>退院申請時	
5. 生活能力	1.92	0.33	1.81	0.45	処遇終了入院>通院移行	1.90	0.30	1.26	0.63	処遇終了入院>通院移行	n.s.	初回入院継続時>退院申請時	
1) 生活リズム	1.04	0.78	0.74	0.69	処遇終了入院>通院移行	0.83	0.75	0.33	0.52	処遇終了入院>通院移行	初回入院継続時>退院申請時	初回入院継続時>退院申請時	
2) 整頓と衛生	1.92	0.84	0.59	0.70	処遇終了入院>通院移行	1.03	0.80	0.43	0.57	処遇終了入院>通院移行	n.s.	初回入院継続時>退院申請時	
3) 金銭管理	1.31	0.75	1.02	0.78	処遇終了入院>通院移行	1.13	0.73	0.61	0.67	処遇終了入院>通院移行	n.s.	初回入院継続時>退院申請時	
4) 家事や料理をしない	1.31	0.77	1.16	0.75	n.s.	1.25	0.76	0.77	0.68	処遇終了入院>通院移行	n.s.	初回入院継続時>退院申請時	
5) 安全管理	1.15	0.89	0.89	0.82	処遇終了入院>通院移行	1.12	0.85	0.49	0.70	処遇終了入院>通院移行	n.s.	初回入院継続時>退院申請時	
6) 社会資源の利用	1.38	0.80	1.05	0.82	処遇終了入院>通院移行	1.32	0.80	0.60	0.73	処遇終了入院>通院移行	n.s.	初回入院継続時>退院申請時	
7) コミュニケーション	1.18	0.78	0.96	0.73	処遇終了入院>通院移行	1.10	0.69	0.57	0.60	処遇終了入院>通院移行	n.s.	初回入院継続時>退院申請時	
8) 社会的引きこもり	1.07	0.83	0.65	0.71	処遇終了入院>通院移行	1.01	0.78	0.32	0.51	処遇終了入院>通院移行	n.s.	初回入院継続時>退院申請時	
9) 孤立	1.34	0.79	0.87	0.73	処遇終了入院>通院移行	1.16	0.78	0.51	0.64	処遇終了入院>通院移行	n.s.	初回入院継続時>退院申請時	
10) 活動性の低下	0.99	0.78	0.63	0.71	処遇終了入院>通院移行	0.91	0.70	0.38	0.54	処遇終了入院>通院移行	n.s.	初回入院継続時>退院申請時	
11) 生産的役割	1.69	0.60	1.44	0.75	処遇終了入院>通院移行	1.65	0.56	0.88	0.81	処遇終了入院>通院移行	n.s.	初回入院継続時>退院申請時	
12) 適度の依存	0.69	0.82	0.50	0.72	n.s.	0.54	0.70	0.32	0.55	処遇終了入院>通院移行	n.s.	初回入院継続時>退院申請時	
13) 余暇を有効に過ごせない	1.00	0.81	0.69	0.70	処遇終了入院>通院移行	0.88	0.81	0.36	0.53	処遇終了入院>通院移行	n.s.	初回入院継続時>退院申請時	
14) 施設への過剰適応	0.28	0.59	0.20	0.48	n.s.	0.35	0.61	0.13	0.41	処遇終了入院>通院移行	n.s.	初回入院継続時>退院申請時	
6. 衝動コントロール	1.48	0.75	1.49	0.71	n.s.	1.42	0.74	0.89	0.72	処遇終了入院>通院移行	n.s.	初回入院継続時>退院申請時	
目	1) 衝動的な行動	0.94	0.91	0.90	0.87	n.s.	0.81	0.90	0.36	0.60	処遇終了入院>通院移行	n.s.	初回入院継続時>退院申請時
2) 衝動がとどまらなくなる	1.03	0.89	0.79	0.84	n.s.	0.77	0.83	0.41	0.58	処遇終了入院>通院移行	n.s.	初回入院継続時>退院申請時	
3) 先の予測をしない	1.28	0.85	1.11	0.84	n.s.	1.19	0.88	0.70	0.70	処遇終了入院>通院移行	n.s.	初回入院継続時>退院申請時	
4) その他かされる	0.48	0.83	0.56	0.80	n.s.	0.36	0.71	0.39	0.62	n.s.	n.s.	初回入院継続時>退院申請時	
5) 怒りの感情の行動化	1.07	0.92	1.03	0.91	n.s.	1.04	0.83	0.35	0.62	処遇終了入院>通院移行	n.s.	初回入院継続時>退院申請時	
7. 共感性	1.17	0.65	1.02	0.58	n.s.	1.16	0.61	0.74	0.58	処遇終了入院>通院移行	n.s.	初回入院継続時>退院申請時	
目	8. 非社会的性	0.94	0.91	0.90	0.87	n.s.	0.23	0.60	0.11	0.38	n.s.	n.s.	初回入院継続時>退院申請時
1) 侮蔑的な言葉	0.21	0.58	0.19	0.52	n.s.	0.23	0.60	0.11	0.38	n.s.	n.s.	初回入院継続時>退院申請時	
2) 社会的規範の蔑視	0.37	0.70	0.31	0.62	n.s.	0.39	0.71	0.21	0.50	n.s.	n.s.	初回入院継続時>退院申請時	
3) 犯罪志向の態度	0.13	0.48	0.16	0.48	n.s.	0.12	0.40	0.06	0.31	n.s.	n.s.	初回入院継続時>退院申請時	
4) 特定の人を害する	0.37	0.74	0.38	0.72	n.s.	0.38	0.71	0.13	0.42	処遇終了入院>通院移行	n.s.	初回入院継続時>退院申請時	
5) 他者を脅す	0.37	0.74	0.29	0.63	n.s.	0.33	0.72	0.05	0.30	処遇終了入院>通院移行	n.s.	初回入院継続時>退院申請時	
6) だます、嘘を言う	0.20	0.58	0.26	0.55	n.s.	0.22	0.57	0.08	0.29	n.s.	n.s.	初回入院継続時>退院申請時	
7) 故意の器物破壊	0.21	0.56	0.24	0.56	n.s.	0.26	0.63	0.04	0.23	処遇終了入院>通院移行	n.s.	初回入院継続時>退院申請時	
8) 犯罪的交友関係	0.11	0.43	0.11	0.39	n.s.	0.07	0.31	0.02	0.18	n.s.	n.s.	初回入院継続時>退院申請時	
9) 性的虐待行動	0.41	0.75	0.22	0.59	n.s.	0.28	0.62	0.07	0.31	処遇終了入院>通院移行	n.s.	初回入院継続時>退院申請時	
10) 放水の兆し	0.20	0.60	0.16	0.49	n.s.	0.17	0.54	0.04	0.23	n.s.	n.s.	初回入院継続時>退院申請時	
9. 対人暴力	0.99	0.95	0.77	0.91	n.s.	0.65	0.85	0.18	0.50	処遇終了入院>通院移行	初回入院継続時>退院申請時	初回入院継続時>退院申請時	
10. 個人的支援	1.34	0.58	1.31	0.58	n.s.	1.14	0.60	0.88	0.65	処遇終了入院>通院移行	初回入院継続時>退院申請時	初回入院継続時>退院申請時	
目	11. コミュニティ要因	1.86	0.35	1.76	0.46	n.s.	1.83	0.34	0.52	0.66	処遇終了入院>通院移行	初回入院継続時>退院申請時	初回入院継続時>退院申請時
12. ストレス	1.80	0.40	1.76	0.43	n.s.	1.80	0.41	1.32	0.51	処遇終了入院>通院移行	n.s.	初回入院継続時>退院申請時	
13. 物質乱用	0.54	0.81	0.40	0.69	n.s.	0.43	0.72	0.26	0.51	n.s.	n.s.	初回入院継続時>退院申請時	
14. 現実的計画	1.97	0.24	1.96	0.24	n.s.	1.78	0.54	1.12	0.73	処遇終了入院>通院移行	初回入院継続時>退院申請時	初回入院継続時>退院申請時	
現 目	1) 退院後の治療プランへの同意	1.96	0.26	1.93	0.32	n.s.	1.46	0.76	0.47	0.65	処遇終了入院>通院移行	初回入院継続時>退院申請時	初回入院継続時>退院申請時
2) 日中活動	1.92	0.37	1.88	0.41	n.s.	1.49	0.72	0.56	0.70	処遇終了入院>通院移行	初回入院継続時>退院申請時	初回入院継続時>退院申請時	
3) 住居	1.80	0.50	1.76	0.55	n.s.	1.30	0.85	0.48	0.73	処遇終了入院>通院移行	初回入院継続時>退院申請時	初回入院継続時>退院申請時	
4) 生活費	1.03	0.77	1.10	0.83	n.s.	0.65	0.72	0.34	0.59	処遇終了入院>通院移行	初回入院継続時>退院申請時	初回入院継続時>退院申請時	
5) 緊急時の対応	1.94	0.33	1.93	0.35	n.s.	1.42	0.79	0.65	0.77	処遇終了入院>通院移行	初回入院継続時>退院申請時	初回入院継続時>退院申請時	
6) 関係機関との連携・協力体制	1.93	0.35	1.89	0.40	n.s.	1.35	0.82	0.53	0.71	処遇終了入院>通院移行	初回入院継続時>退院申請時	初回入院継続時>退院申請時	
7) キーパーソン	1.38	0.70	1.47	0.67	n.s.	1.00	0.71	0.66	0.72	処遇終了入院>通院移行	初回入院継続時>退院申請時	初回入院継続時>退院申請時	
8) 地域への受け入れ体制	1.96	0.26	1.88	0.41	n.s.	1.36	0.82	0.50	0.72	処遇終了入院>通院移行	初回入院継続時>退院申請時	初回入院継続時>退院申請時	
15. コンプライアンス	1.45	0.58	1.34	0.58	n.s.	1.43	0.58	0.75	0.57	処遇終了入院>通院移行	n.s.	初回入院継続時>退院申請時	
目	16. 治療効果	1.06	0.29	1.00	0.37	n.s.	1.41	0.49	0.80	0.42	処遇終了入院>通院移行	初回入院継続時>退院申請時	初回入院継続時>退院申請時
17. 治療・ケアの継続性	1.99	0.12	1.94	0.28	n.s.	1.83	0.42	1.08	0.63	処遇終了入院>通院移行	初回入院継続時>退院申請時	初回入院継続時>退院申請時	
治 目	1) 治療回	1.32	0.73	1.12	0.73	n.s.	1.22	0.72	0.37	0.52	処遇終了入院>通院移行	n.s.	初回入院継続時>退院申請時
2) 予防	1.92	0.28	1.82	0.50	n.s.	1.62	0.60	0.76	0.66	処遇終了入院>通院移行	初回入院継続時>退院申請時	初回入院継続時>退院申請時	
3) モニター	1.94	0.23	1.84	0.49	処遇終了入院>通院移行	1.58	0.69	0.64	0.70	処遇終了入院>通院移行	初回入院継続時>退院申請時	初回入院継続時>退院申請時	
4) セルフモニタリング	1.92	0.28	1.74	0.54	処遇終了入院>通院移行	1.72	0.51	0.90	0.65	処遇終了入院>通院移行	初回入院継続時>退院申請時	初回入院継続時>退院申請時	
5) 緊急時の対応	1.99	0.12	1.87	0.44	処遇終了入院>通院移行	1.74	0.61	0.74	0.72	処遇終了入院>通院移行	初回入院継続時>退院申請時	初回入院継続時>退院申請時	

n.s. : not significant



表9 行動制限群のうち、処遇終了-入院群と通院移群の初回入院継続申請時共通評価項目の評定数

第2版共通評価項目	初回入院継続申請						カイ2乗値	Cramer's V	
	行動制限群 -処遇終了-入院 n=71			行動制限群 -通院移行 n=188					
	0点	1点	2点	0点	1点	2点			
1. 精神病症状	6人 8.5%	13人 18.3%	52人 73.2%	14人 7.4%	46人 24.5%	128人 68.1%	1.12 n.s.	0.066	
精神 病 症 状 の 小 項 目	1) 通常でない思考	10人 14.1%	16人 22.5%	45人 63.4%	31人 16.5%	42人 22.3%	115人 61.2%	0.23 n.s.	0.030
	2) 幻覚に基づいた行動	20人 28.2%	11人 15.5%	40人 56.3%	65人 34.6%	41人 21.8%	82人 43.6%	3.44 n.s.	0.115
	3) 概念の統合障害	22人 31.0%	18人 25.4%	31人 43.7%	61人 32.4%	63人 33.5%	64人 34.0%	2.43	0.097
	4) 精神病的しぐさ	25人 35.2%	13人 18.3%	33人 46.5%	82人 43.6%	61人 32.4%	45人 23.9%	13.18 **	0.226
	5) 不適切な疑惑	26人 36.6%	13人 18.3%	32人 45.1%	46人 24.5%	58人 30.9%	84人 44.7%	5.70 n.s.	0.148
	6) 誇大性	50人 70.4%	9人 12.7%	12人 16.9%	120人 63.8%	34人 18.1%	34人 18.1%	1.29 n.s.	0.071
4. 内省・洞察	0人 0.0%	12人 16.9%	59人 83.1%	3人 1.6%	36人 19.1%	149人 79.3%	1.37 n.s.	0.073	
内 省 ・ 洞 察 の 小 項 目	1) 対象行為への内省	2人 2.8%	35人 49.3%	34人 47.9%	12人 6.4%	107人 56.9%	69人 36.7%	3.38 n.s.	0.114
	2) 対象行為以外の他害行為への内省	11人 15.5%	16人 22.5%	44人 62.0%	41人 21.8%	72人 38.3%	75人 39.9%	10.26 **	0.199
	3) 病識	4人 5.6%	28人 39.4%	39人 54.9%	12人 6.4%	92人 48.9%	84人 44.7%	2.19 n.s.	0.092
	4) 対象行為の要因理解	1人 1.4%	13人 18.3%	57人 80.3%	12人 6.4%	43人 22.9%	133人 70.7%	3.68 n.s.	0.119
5. 生活能力	1人 1.4%	4人 5.6%	66人 93.0%	4人 2.1%	28人 14.9%	156人 83.0%	4.31 n.s.	0.129	
生 活 能 力 の 小 項 目	1) 生活リズム	20人 28.2%	28人 39.4%	23人 32.4%	76人 40.4%	85人 45.2%	27人 14.4%	11.16 **	0.208
	2) 整容と衛生	27人 38.0%	21人 29.6%	23人 32.4%	100人 53.2%	65人 34.6%	23人 12.2%	14.60 **	0.237
	3) 金銭管理	12人 16.9%	25人 35.2%	34人 47.9%	56人 29.8%	73人 38.8%	59人 31.4%	7.35 *	0.168
	4) 家事や料理をしない	13人 18.3%	23人 32.4%	35人 49.3%	40人 21.3%	78人 41.5%	70人 37.2%	3.16 n.s.	0.111
	5) 安全管理	23人 32.4%	14人 19.7%	34人 47.9%	75人 39.9%	59人 31.4%	54人 28.7%	8.82 *	0.185
	6) 社会資源の利用	14人 19.7%	16人 22.5%	41人 57.7%	59人 31.4%	61人 32.4%	68人 36.2%	9.89 **	0.195
	7) コミュニケーション	16人 22.5%	26人 36.6%	29人 40.8%	54人 28.7%	88人 46.8%	46人 24.5%	6.72 *	0.161
	8) 社会的引きこもり	22人 31.0%	22人 31.0%	27人 38.0%	91人 48.4%	71人 37.8%	26人 13.8%	18.99 **	0.271
	9) 孤立	14人 19.7%	19人 26.8%	38人 53.5%	63人 33.5%	86人 45.7%	39人 20.7%	26.50 **	0.320
	10) 活動性の低さ	22人 31.0%	28人 39.4%	21人 29.6%	99人 52.7%	60人 31.9%	29人 15.4%	11.39 **	0.210
	11) 生産的活動・役割	5人 7.0%	12人 16.9%	54人 76.1%	29人 15.4%	47人 25.0%	112人 59.6%	6.43 *	0.158
	12) 過度の依存	38人 53.5%	17人 23.9%	16人 22.5%	119人 63.3%	44人 23.4%	25人 13.3%	3.60 n.s.	0.118
	13) 余暇を有効に過ごせない	23人 32.4%	25人 35.2%	23人 32.4%	85人 45.2%	77人 41.0%	26人 13.8%	11.85 **	0.214
	14) 施設への過剰適応	56人 78.9%	10人 14.1%	5人 7.0%	158人 84.0%	23人 12.2%	7人 3.7%	1.53 n.s.	0.077
17. 治療・ケアの継続性	0人 0.0%	1人 1.4%	70人 98.6%	2人 1.1%	7人 3.7%	179人 95.2%	1.71 n.s.	0.081	
治 療 ・ ケ ア の 継 続 性 の 小 項 目	1) 治療同盟	11人 15.5%	26人 36.6%	34人 47.9%	40人 21.3%	85人 45.2%	63人 33.5%	4.61 n.s.	0.133
	2) 予防	0人 0.0%	6人 8.5%	65人 91.5%	9人 4.8%	16人 8.5%	163人 86.7%	3.54 n.s.	0.117
	3) モニター	0人 0.0%	4人 5.6%	67人 94.4%	10人 5.3%	10人 5.3%	168人 89.4%	3.93 n.s.	0.123
	4) セルフモニタリング	0人 0.0%	6人 8.5%	65人 91.5%	9人 4.8%	30人 16.0%	149人 79.3%	6.43 *	0.158
	5) 緊急時の対応	0人 0.0%	1人 1.4%	70人 98.6%	8人 4.3%	8人 4.3%	172人 91.5%	4.50 n.s.	0.132

n.s. : not significant